

お家でできる言語聴覚療法

なるべく多くのお子様に言語療法を提供するため、月1回を基本としています。状況によってはST開始までお待ちいただくこともあるかと思います。「お家でできること」として日頃伝えることが多いことをまとめましたので、参考になれば幸いです。

見せる前に「言葉」を

ごはんの前に「ごはんだよ」、電車のTVをつける前に「でんしゃ みよう」と、言葉をかけてから、実物を前にだしてあげることで「言葉」をヒントに考えることが育ちます。

食事の時によく噛もう

「話す」と「食べる」の共通点は“くち”です。よく噛むことは口周りの筋肉を育てることにつながります。お子様にあった食材でよく噛むことお意識してみましよう。

ふーっと吹くあそび

ストローでブクブク、シャボン玉など、吹くあそびは口周りの筋力を使います。ゆっくり吹いたり素早く吹いたり楽しみながら発音の基盤を育てていくことにつながります。

